

第3章 京葉線（蘇我～葛西臨海公園）

第1節 蘇我～二俣新町

<外房線>

鎌取からの続きは、2002年10月19日（土）、途中雨に会う覚悟で挑戦した。考えてみれば、自由自在に使える時間などそうあるものでない。

最近時間が貴重に思えるこの頃である。死が近いのであろうか？体調がいまいちであったが外房線・京葉線に挑戦することとした。朝6時半頃の電車で新宿に向う。今日は、蘇我駅走破後は京葉線の残りを歩くので、東京駅経由で蘇我に行き、そこから外房線で鎌取に出る。蘇我での乗り継ぎ時間を調べなかったにもかかわらず、5分位の待ち時間で乗り継ぐことができた。ラッキーであった。鎌足駅の西口はとてもゆったりとしたモダンな感じのターミナルであった。運良くうす曇から日が指して来た。丁度前回の成東を出たときと同じであった。

鎌取駅（藤原鎌足）と蘇我駅（蘇我蝦夷）は、郷土の歴史を紐解いたわけではないが、大化の改新に登場して来る人物を参考にしてつけられたのか。と考えているうちに、すぐ止むがこの区間で小雨に逢う。

<蘇我～二俣新町>

蘇我(10:35)～千葉みなと(12:15)～稲毛海岸～検見川浜(14:00)～
海浜幕張(15:00)～幕張豊砂～新習志野～南船橋(16:20)～二俣新町(17:30)



※蘇我駅、千葉みなと駅

蘇我駅に10時35分到着。この駅は内房線走破のとき来たことがあるので懐かしく思えた。みなと公園の手前の「すき家」で11時半頃早い昼食をとる。みなと公園には12時5分到着。公園内を散策後、千葉みなと駅には12時15分に到着。今から考えると、千葉みなとから海浜幕張まで、京葉道路と京葉線の間であり、京葉線に沿って緑が連なり、ウォーキングには最適なコースであった。また、稲毛海岸、検見川浜、海浜幕張の駅前ほどの駅もゆったりした感じの造りで21世紀を代表するのにふさわしい駅であった。新浦安や舞浜辺りと同じ感じのする風景であった。



※稲毛海岸駅、稲毛海岸駅への路

検見川浜のふれあい橋（14時頃到着）は心をなじませてくれた。川でもないのに、高さ50m位の大きな釣り橋がとても印象的だったので、足を止めずにはいられなかった。それで珍しくこの駅の広場で15分位の休息をとる。また、海浜幕張もとてもよかった。近代的な高層ビルが立ち並んでいた。同じニュータウンでも千葉ニュータウンとは駅前ひとつをとっても雲泥の差があるように見えた。NTTや富士通のビルが目に入って来た。



※検見川浜駅、海浜幕張駅への路

海浜幕張を3時前に通過後は、これまでのウォーキングコースと一転して、湾岸線の高速道路が京葉線に沿って走っており、排気ガスを気にする歩きとなった。京葉線下の植物保護のためか5m位の塀があり、その塀沿いを歩く。塀の切れ目に新習志野駅と南

船橋駅があった。



※京浜幕張駅



※幕張豊浜駅（新設）、新習志野駅



※新習志野駅への路、南船橋駅

南船橋駅（16時20分）を過ぎ、少しでも排気ガスの少ない道路と思い京葉線の左側に出たところ、海老川が遮り岸を渡れず。船橋オートが南側にあった。どのような使われ方するかわからないが、高さ100m位のドームがあった。この近郊で辺りを散策し、30分位はロスをした。スーパーの交通係りに聞いて、やっと歩道の入口を見つけることができた。5時位になっていたので辺りは薄暗くなっていた。それから二俣新町を目

指し夜の道を進む。二町新町も武蔵野線が合流していた。暗くて見通しが悪いため、もう少しで武蔵野線の方に行くところであった。道を間違えたかと思い引き返えそうとしたところ二俣新町駐輪場という立て看板が目に入り安堵した。でも、駅が見当たらず。それで、サラーマン姿の通行人に聞いて難を逃れる。目の前が二俣新町の駅だった。17時半だった。自宅には20時過ぎに着く。今日の成果は、営業距離で25.4Km、万歩計で56,684歩だった。南林間から自宅まで雨にあったが、天気にも恵まれ、外房線の一部と京葉線の残りを走破でき充実した一日となった。



※二町新町駅

第2節 南船橋～葛西臨海公園

2021年10月29日（金）快晴、東京に所用があり、アクセス時間を効率的に活用するため、京葉線（東京～蘇我：営業キロ 43.0 km）中、立ち寄り駅舎画像がない南船橋駅～東京駅までのリベンジを急遽思いつく。本日はそのうち、南船橋駅から葛西臨海公園駅までの営業キロ 15.4 kmに挑戦する。また、”日本横断歩き鉄の旅 PDF”シリーズで第22編（武蔵野線・京葉線）として搭載を予定している。それ故、一日でも早く目標を達成したいという心境からも決断した。



※東京駅

因みに、蘇我駅から二俣新町駅までは2002年10月19日（土）、西船橋駅から舞浜駅までは2001年5月5日（金）、そして舞浜駅から東京駅までは2001年6月23日（土）踏破済である。



※東京駅京葉線ホーム

本日のコースは、武蔵野線と大きく異なり、多少道筋の記憶が残っていた。また、本日の路線は、幹線道路（国道357号：東京湾岸道路）が並走していたし、

フラットな海岸線を走っていたので、道に迷うというリスクは少なく、心身ともにリラックスして臨むことができた。ただし、近い将来リベンジ予定の葛西臨海公園駅から東京駅までは線路が地下にある箇所があるので、武蔵野線のように神経を費やす歩きが予想された。



※南船橋駅（武蔵野線と京葉線）



※南船橋駅

東京駅から京葉線の東京駅ホームまでは長い長い道のりであった。歩く歩道もあったが、10分位は歩かされた心境。東京駅や南船橋駅の路線図などを見て、武蔵野線と京葉線とは上手く連携していることを改めて勉強させて頂いた。すなわち、府中本町～西船橋～市川塩浜～東京。府中本町～西船橋～南船橋。



※二俣新町駅への路

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

南船橋（10:18）～二俣新町（11:25）～市川塩浜（12:48）～新浦安（13:35）
～舞浜（15:10）～葛西臨海公園（16:05）

①東京駅から南船橋駅までの道筋を車窓からチェックしながら進む。南船橋駅は多少20年前の残像が残っていた。10時31分から海老川大橋（海老川1,086歩）を渡る。10時48分、日の出交差点を横切り、京葉線高架下（鉄道の右側）となる。ここから、国道357号線をキープし、このポジションを堅持して進む。11時4分、107歩ある末広橋を渡る。11時16分、船橋市から市川市となる。11

時 18 分、二俣交差点で東京方面の特急車両が通過して行く。11 時 25 分、本日の最初の二俣新町駅には 11 時 25 分到着する。



※二俣新町駅への路、末広橋



※二俣新町

②11 時 36 分より、万歩計で 335 歩ある原木大橋（真間川）を通過する。11 時 50 分、複雑な道路が交差する地点を通過する。11 時 58 分より、市川大橋（江戸川、840 歩）を通過する。左側の鉄道は京葉線江戸川放水路橋梁とあった。12 時 21 分より、714 歩ある千鳥大橋を渡る。12 時 29 分、東京 18 km、浦安 4 km と記した道路標識前を通過。12 時 48 分、市川塩浜駅に到着する。ここから、これまでの風景とは異なり、道筋に工場などの施設が多々登場する。



二俣新町駅への路、心地よい道筋もあります



※市川塩浜駅への路、塩浜二丁目バス停



※市川塩浜駅

③13時6分、東京湾に面した海岸線に出る。13時13分、鉄道下を歩いた先で数メートルの川には橋がなく前方を遮る。止むを得ず、300m位引き返し、国道357号に繋がる歩道に戻る。10分位ロスタイムが生じる。京葉線の左手には街並みが広がる。東日本大震災で液状状態になった地帯だろうか。13時23分、心地よい美浜公園内を通り抜ける。13時35分、ATREに面した新浦安駅に到着する。少し遅いが、店内にある”和幸”でランチとする。とんかつ和幸は、フコク生命時代よく利用させてもらった。懐かしくなる。旅先でランチタイムするのは久しぶりである。最近では、”ランチ時に食事する箇所がない”、”夜のために食べない”、”食べると腹痛の恐れがある”、”眠たくなる”、”先を急ぐ”などなどからランチは割愛していた。和幸で30分位休息したので、腹持ちはよかったが、反面眠たくなった。ここ数ヶ月のウォーキングを振り返り、食べない方が足取りが軽い感じであった。



※新浦安駅への路



※美浜公園、ATRE



※新浦安駅、和幸

④14時3分、和幸を出て、舞浜駅を目指す。14時9分、今川橋(96歩)を渡る。14時39分、JR線下を潜り鉄道の左側となる。JR線と国道357号とは大きく乖離する。舞浜の街並みとなる。最初の交差点を右折する。15時、JR線を潜り、鉄道の右側となる。ディズニーランド・シーで何度も利用したモノレールの舞浜駅が見えてくる。舞浜駅北口には15時4分到着。通路を經由し、舞浜駅南口(15時10分)に出る。駅前の風景を種々のアングルから撮影する。この駅を見ると、駅限界で偶然にもあったフコク生命時代の友人。また、ホテルで宿泊した後、JR舞浜駅から会社に出勤した日が昨日のように思い出し懐かしくなった。



※舞浜駅への路



※舞浜駅北口



※舞浜駅



※舞浜駅前

⑤鉄道に沿って歩く。暫く行った先で川が前方を遮る。ここでも 100m位戻り、国道 357 号に繋がる歩道まで戻る。15 時 33 分より、1,034 歩ある舞浜大橋（旧江戸川）を渡る。橋の中頃で千葉県浦安市から東京都江戸川区となる。16 時 5 分、道路から葛西臨海公園交差点の看板を目にする。少し行った先で、JR 線を潜り、鉄道の左側となる。葛西臨海公園の観覧車が見えて来る。噴水がある葛西臨海公園には 16 時 5 分到着。16 時 15 分の東京行きの電車で家路に。



※舞浜大橋



※舞浜大橋、葛西臨海公園

本日の踏破で、通算営業キロは **1 万 2 千 673 km (歩き日数 617 日)** となった。同時に暦年で 1,082 km (歩き日数 51 日) と記録更新中である。充実した一日であった。



※噴水を背後にして、16時15分の電車で家路に！！